

令和 8 年 3 月 25 日

新潟市小須戸温泉健康センター 花の湯館 令和 8 年度事業計画

新潟市長 中原 八一 様

新潟市小須戸温泉健康センター花の湯館

指定管理者

株式会社 関越サービス

代表取締役 小川和宣

令和 8 年度事業計画

1. 運営

目標値

集客計画

営業時間

休館日

年末年始

2. 管理

組織・人員体制

3. その他

自己評価の手法

4. 収支予算

1. 運営

■目標値

年度	当初目標値（人）	修正目標値（人）	年間入館者数（人）	前年対比
平成 24 年度	-	-	88,788	-
平成 25 年度	-	-	79,414	89.4%
平成 26 年度	-	-	86,694	109.1%
平成 27 年度	83,000	-	95,813	110.5%
平成 28 年度	87,000	97,000	108,068	112.8%
平成 29 年度	92,000	108,500	113,997	105.5%
平成 30 年度	108,500	-	126,911	100.5%
平成 31 年度	99,046	105,000	121,617	95.8%
令和 2 年度	103,040	72,800	79,569	65.4%
令和 3 年度	105,685	89,200	89,912	112.9%
令和 4 年度	106,500	-	95,429	106.1%
令和 5 年度	89,000	-	87,814	92.0%
令和 6 年度	95,500	-	93,576	106.5%
令和 7 年度	96,600	-	95,793（見込み）	102.3%
令和 8 年度	99,500	-		103.8%

令和 7 年度の年間入館者数の目標値は 96,600 人（前年対比 103.2%）でしたが、結果は 95,793 人（前年対比 102.3%）となる見込みです。

ゴールデンウィークやお盆等、レジャーシーズンを中心に前年度を上回る入館者数の月が多く、目標達成を見込んでおりましたが、年末年始の繁忙期に受水槽の弁が故障し短縮営業を余儀なくされました。

これに伴い一部返金対応を実施したことから、実際の来館者数よりも計上している人数は少なくなっております。さらに、設備復旧までの期間に来館を控えたお客様も一定数いらっしゃるため、これらが目標に至らなかった要因と考えられます。

一方で、年間入館者数は前年度比 102%となる見込みであり、特に LINE クーポンを利用しての来館が著しく増加しており、昨年度比 130%に達する見込みです。

これは、web 広告や SNS の情報が来館のきっかけになったと考えられます。また、LINE 登録者では女性が 6 割を占めており、特に 30～40 代の女性が多くなっています。季節のイベント開催情報に加え、花の湯館の温泉成分の魅力を発信したことにより、興味関心のある年代層へのアプローチが成功したと考えられます。さらに、SNS を活用した情報発信が集客に繋がることを示しています。

以上のことから今後も積極的に SNS を活用し、家族層を中心とした新規客の獲得に努め令和 8 年度の目標入館者数は令和 7 年度対比約 104%の 99,500 人に設定いたします。

■集客計画

年度	年間入館者数(人)	小人(人)※小学生	小人割合	前年対比	H26 対比
平成 25 年度	79,414	2,109	2.7%	-	-
平成 26 年度	86,690	2,244	2.6%	106%	-
平成 27 年度	95,813	3,190	3.3%	142%	142%
平成 28 年度	108,068	4,915	4.5%	154%	219%
平成 29 年度	113,997	5,513	4.8%	112%	245%
平成 30 年度	126,911	5,709	4.5%	103%	254%
平成 31 年度	121,617	6,691	5.5%	117%	298%
令和 2 年度	79,569	3,650	4.5%	54.5%	162%
令和 3 年度	89,912	4,707	5.2%	128%	209%
令和 4 年度	95,429	5,263	5.5%	111%	234%
令和 5 年度	87,814	5,566	6.3%	105%	248%
令和 6 年度	93,576	6,352	6.7%	114%	283%
令和 7 年度	95,793 (見込み)	6,712 (見込み)	7.0%	105%	299%

令和 7 年度も幼児と小学生の入館者数は前年度より更に増加しており、新型コロナウイルス流行前に追いつくほどの数値となる見込みです。

少子化が進んでいる時勢の中で子どもの入館者数が増えているというのは、花の湯館が「子ども連れで楽しめる施設」、「子ども連れで行きやすい施設」として広く認知されているからだと考えられます。お客様アンケートでも、お子さん連れの方からの喜びのコメントが多く寄せられており、お子さんたちからのアンケート回答も多くいただいております。祖父母の世代からも、「帰省した孫が喜びそうなイベントがあったので連れて来ました。」と好評をいただいております、実際に週末は三世代で来館されるご家族も増えています。

令和 8 年度も子どもから大人まで、多くのお客様に楽しんでいただけるイベントを開催し、集客に繋げていきます。

また、SNS や Web 広告でのイベント情報の発信、トキっ子くらぶへの掲載など、子ども連れでも安心して来ることが出来る温泉としての周知活動にも力を入れ、新潟市内だけでなく近隣市町村からの新規入館者の開拓や観光客の呼び込みも行っていきます。

以前より地域の皆様に様々なご支援をいただいておりますが、更に地域と繋がり、地域に貢献できる施設となるべく、令和 4 年度からは花の湯館スタッフが矢代田小学校の学校運営協議会に参加させていただいております。小学生の職場見学受け入れはもちろん、地域の祭りでは子どもたちと一緒に露店を出店するなど積極的に地域との交流も行いまし

た。

その他にも、小須戸商工会のひな・町家めぐり等の企画などにも参加させていただきま
した。令和 8 年度も引き続き地域の団体と連携していきたいと考えています。

<集客イベント例>

- ・毎週日曜日の「超アヒル風呂」
- ・毎週土曜日の「積み木風呂」
- ・敬老の日の「長生き風呂」
- ・お正月の「でっこい年賀状風呂」
- ・バレンタインデーの「チョコレート風呂」「チョコ入浴剤ゼリー配布」「チョコパック」
- ・ハロウィンイベントの「目玉型入浴剤ゼリー配布」「コスプレ衣装貸し出し」
- ・冬至の「ゆず風呂」
- ・お盆の帰省に合わせた「供養泉」
- ・日本酒風呂、酒粕風呂、酒粕パック、試飲販売会
- ・毎週土曜日の泥パック配布
- ・ボジョレー解禁「ワイン風呂」
- ・里山を紹介する「森林風呂」
- ・受験生応援企画「いい予感風呂」
- ・月曜午前中早起きポイントデー
- ・【夜トク】平日 17 時以降ポイント 2 個
- ・パパママ銭湯
- ・毎月 26 日の「風呂の日ポイント」
- ・母の日イベント
- ・父の日イベント
- ・子どもの日の「菖蒲湯」
- ・ボールが浮かんた「カラフルボール風呂」
- ・犬の日「愛犬自慢風呂」、猫の日「愛猫自慢風呂」
- ・11 月 22 日の「いい夫婦の日」イベント
- ・矢代田小学校の卒業生をお祝いする「パイナップル風呂」
- ・子ども向け謎解きイベント
- ・子ども向け〇〇探しイベント
- ・クスッと笑える短歌
- ・ガラボン抽選会
- ・パパ風呂
- ・ピンコ大会、ファミリーピンコ大会
- ・ワークショップ、いっちゃんとあそぼう

＜割引関係＞

別表参照

■営業時間

10：00～21：00

■休館日

毎月第2水曜日

休館日の作業内容

館内設備メンテナンス、部門ミーティング、全体ミーティング
イベント会議（魅力会議）、スタッフ研修

■年末年始

平成26年度までは12月30日から1月2日まで休館日となっておりました。年末年始に関して12月31日のみを休館日としています。

年末年始の入館者数は、新型コロナウイルス流行による緊急事態宣言が発令されていた令和2年度には減少したものの、規制のなくなった現在では帰省によるニーズが見込めるため、引き続き12月31日を休館日、1月1日を営業日とします。

2. 管理

■組織・人員体制

本社のバックアップ体制のもと、利用状況に応じ適切な職員数を配置し、職員の教育、研修を行い、公共施設を運営するにふさわしい一定レベル以上の品質を確保できるよう努めてまいります。

人員

マネジャー	1名
フロントスタッフ	4名
設備管理スタッフ	7名
クリーンスタッフ	11名

3. その他

■自己評価の手法

- ・アンケート
- ・ISO9001 を活用した PDCA サイクル
- ・スタッフミーティングによる「お客様からの声」の吸い上げ
- ・教育訓練書

4. 収支予算

令和8年度新潟市小須戸温泉健康センター収支計画書

収 入

(単位：千円)

項 目	金 額	内 容
入浴収入	46,740	利用料金、回数券販売
新潟市からの指定管理料	33,140	指定管理委託料
その他収入	3,717	小部屋使用料、貸タオル、館内着、イベント手数料
収入合計	83,597	

支 出

(単位：千円)

項 目	金 額	内 容
人件費	24,261	
需用費	42,155	水光熱費
施設管理費	6,776	施設設備保守点検費、修繕費
事務費	3,677	通信費、事務消耗品、宣伝広告費、保険料、営業研修費
使用料	477	清掃機器リース料、受信料
その他支出	5,562	消耗品、車両費、タオルリース料
本社費	4,800	経理、労務管理
消費税納付額	2,270	
支出合計	89,978	

収入合計83,597－支出合計89,978＝－6,381（千円）

人件費及び水光熱費の上がり幅が大きく、更に物価高騰による施設管理費や消耗品費の増加、また令和4年度の提案書でもお願いしていました条例改正が必要な入館料の改定がまだ実現していないため支出が収入を上回る想定になります。